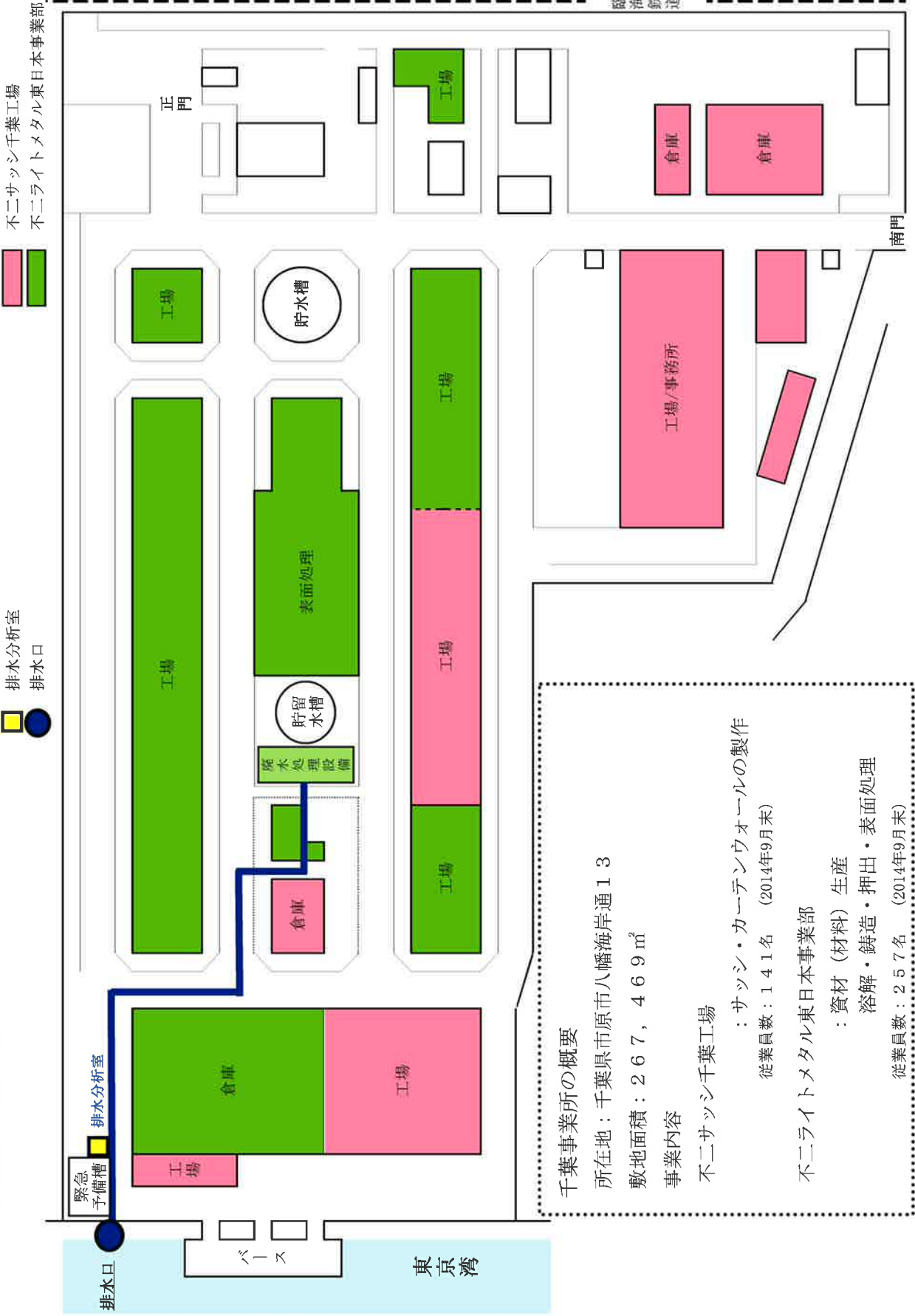
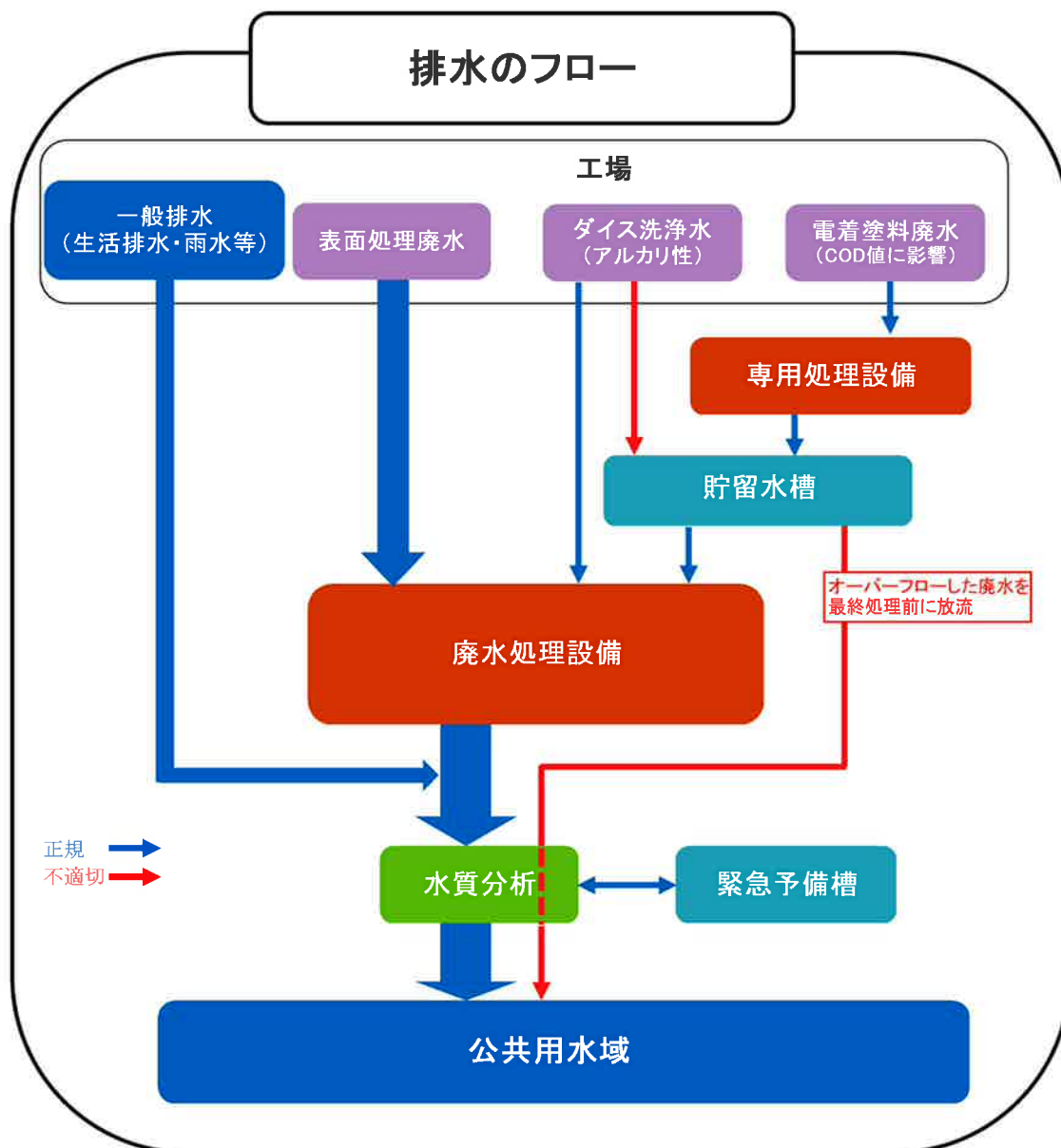


千葉事業所 概略図





- 表面処理廃水：表面処理工程から排出される廃水。弱酸性。
- ダイス洗浄水：ダイス金型に付着したアルミを除去した後に、ダイス金型を洗った水。アルカリ性。
- 電着塗料廃水：アルミ合金の表面を塗装する工程の洗浄廃水。アルカリ性。
- 専用処理設備：廃水中のアルカリ性物質を中和・除去し、更にCOD値も低下させる。
- 廃水処理設備：酸性廃水、アルカリ性廃水を中和し、不純物を取り除き基準値内の廃水にする。
- 水 質 分 析：最終処理された廃水が法令・協定値内にあるか自動計測する。
- 緊 急 予 備 槽：水質分析で異常値が出ると自動的にこの槽に送水され、公共用水域への流出を防ぐ。

<参考>

◎ 千葉事業所排水

排水量	1日当たり
事業所全体	約2,400m ³
不適切排水	約10m ³

◎ 法令・二者協定値

規制値	水質汚濁防止法	市原市との協定値
pH	5.0~9.0	—
COD	25.0ppm	10ppm

◎ 最終排出口での測定結果

2014年10月		
最小	平均	最大
7.3	7.9	8.6
1.5ppm	4.7ppm	7.0ppm

※9月18日、行政立会いのもと不適切な排水処理を再現し、外部分析会社が水質分析を行った結果は、pH 9.4、COD 10.0ppmでした。

千葉事業所周辺地域の水質状況 (千葉県による公共用水域水質測定結果より)

弊社グループ千葉事業所の周辺海域には、下図の通りの水質測定地点があり、千葉県による水質調査が行われています。

この水質測定地点におけるpH、COD濃度測定は年間12回実施されていますが、その結果は基準に適合していたものと判断されています。(※1)

【データ出典】

千葉県ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/suiho/kasentou/koukyouyousui/index.html>



東京湾7地点	緯度	北緯	35° 33' 52"
	経度	東経	140° 4' 34"

○ 東京湾7地点におけるpH・CODの年平均値

年度	年平均値		年度	年平均値		年度	年平均値	
	pH	COD mg/l		pH	COD mg/l		pH	COD mg/l
1999	8.2	3.0	2004	8.2	3.6	2009	8.2	2.8
2000	8.3	3.0	2005	8.2	3.4	2010	8.3	3.4
2001	8.1	2.8	2006	8.1	2.4	2011	8.2	3.2
2002	8.1	3.3	2007	8.2	2.7	2012	8.2	3.8
2003	8.2	2.8	2008	8.2	2.5	2013	8.4	2.9

※1：現在、千葉県ホームページに掲載されているデータを参考にしております。

用語解説

項目		解説
pH	水素イオン濃度	酸性、アルカリ性の度合いを示す指標。 7を中性とし、7より小さければ酸性が強く、大きければアルカリ性が強い。 ※参考 海水≒8.1～8.4
COD	化学的酸素消費（要求）量	水中の有機物を酸化剤で酸化した時に消費される酸化剤の量を、相当する酸素の量で表したもので、海域の有機汚濁の指標として用いる。 値が大きいほど水中の有機物が多い。
鋳造		アルミ地金（インゴット）等を溶解し、鋳型に流し込んで円柱状のアルミ合金ビレットを製造する工程。
押出		アルミ合金ビレットを「ところてん」を押し出すのと同じように、ダイス金型を通して、アルミニウム形材を成型する工程。
ダイス金型		押出成形用の金型。一般には製品形状と同じ形状の「孔」を持つ。
表面処理		アルミニウム形材の表面に、薄い膜をコーティングし、着色したり、耐食性・耐候性を高めるための工程。